

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)

【公開番号】特開 2010-280201 (P2010-280201A)

【公開日】平成 22 年 12 月 16 日 (2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報 2010-050

【出願番号】特願 2009-137159 (P2009-137159)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 5 月 28 日 (2012.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体と、

前記支持体上に、無機顔料、PVA 及び架橋剤を含有する多孔質インク受容層を少なくとも 2 層以上、有するインクジェット記録媒体であって、

各多孔質インク受容層は、架橋剤の含有量が PVA の含有量の 0.2 当量以上であり、最表層を構成する前記多孔質インク受容層（インク受容層 A）の純水に対する接触角を a、前記インク受容層 A 直下の多孔質インク受容層（インク受容層 B）の純水に対する接触角を b としたとき、下記関係式（A）を満たすことを特徴とするインクジェット記録媒体。

$a > b$ 、 $30^\circ < a \leq 50^\circ$ 、 $30^\circ \leq b < 50^\circ$ (A)。

【請求項 2】

前記インク受容層 A に含有される PVA のケン化度は、前記インク受容層 B に含有される PVA のケン化度よりも低いことを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録媒体。

【請求項 3】

前記インク受容層 A の、乾燥後の塗工量が 3 g/m^2 以上 10 g/m^2 以下であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録媒体。

【請求項 4】

多孔質インク受容層用の塗工液を塗工する工程を 2 回以上、繰り返すことによって、全ての前記多孔質インク受容層が形成されたものであることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録媒体。

【請求項 5】

顔料インクに用いることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録媒体。